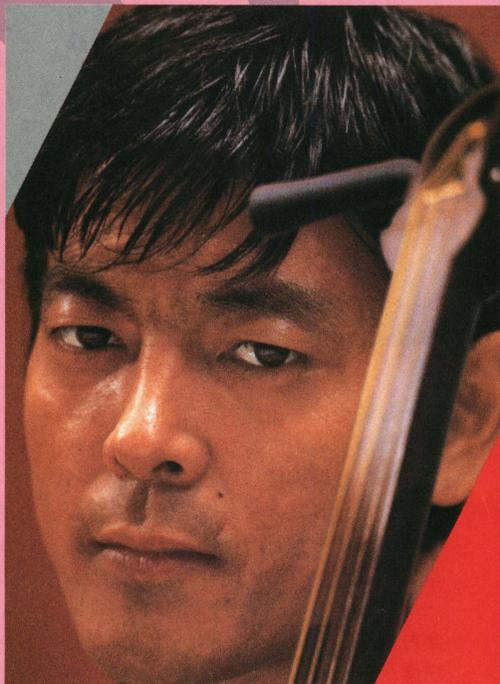


どこかに自分よりも凄いやつがいる……だから地獄の火を見てみたい。

柴田 恭兵

有森也実
佐野史郎
織本順吉
馬本晴子
牧本良介
平山直樹
福崎和広
北村順夫
宮下順子
左家さん
明石藤慶
佐藤まり
加賀まりこ



■長部日出雄第一回監督作品

A FESTIVAL OF DREAMS

夢の祭り

製作 原正人
村口上光
堀山健一
プロデューサー 山下真也
河井真壽夫
鍋島喜徳
長部日出雄
横田年千
山田千修
山田千修

撮影 田村正 毅
照明 高屋小四郎
美術 山口保 眺
録音 神保小 眺
編集 鈴木本 眺
衣装デザイン ワタエ 雄
助監督 門奈美
製作担当 金澤秀
プロデューサー 朝妻秀明
監修 黒田征太郎
協力 青森県 弘前市
岩木町 平賀町
稲垣村 乳井神社

芸の極みの
地獄の火を—
俺はみてみたい。

夢の祭り

A Festival of Dreams

●直木賞作家 長部日出雄
自らの企画による映画化！

「津軽世去れ節」「津軽じょんから節」で第69回直木賞を得た作家、長部日出雄は、熱烈な映画ファンとしても、鋭利な映画批評家としても知られる。

近年、必ずしも助監督から監督という時代ではなくなり、同世代でもあるイラストレーターと俳優の伊丹十三が監督としてデビューした頃から、彼は自分にもその可能性があるのではと感じ始めた。それは、彼の念願



の夢でもあった。

そして遂に、原作・脚本・監督という夢が現実のものとなった!! 製作費の一部に私財を投じ、映画が完成するまではと、大好きなお酒を断ち、青森のロケ先にも飛行機は使わず、夜行列車で往復という徹底ぶり。他の仕事も一切断って、この「夢の祭り」一本に全力投球。その意気込みがガンガンと映像から伝わってくる。

昭和初期の津軽を舞台に、男たちのジャズの即興演奏にも似た三味線の曲弾き合戦を津軽の季節の移り変わりを追いながら幻想味をまじえてダイナミックに描く。

三味線という一見古風な楽器を用いて、現代のロック・ミュージカルを彷彿させる痛快な音と映像のハーモニー。



●絶妙な「演じるテクニック」
「見せるテクニック」!

主演の柴田恭兵は、全体の1/3が、三味線を弾くシーンということもあり、4ヶ月前から猛特訓。ロケ先でも合間をぬって稽古に励み、指にはタコができ、出血もしばしば。その間、三味線歴40年という山田千里を始め、岡田修、山上進らが、その指導にあたる。

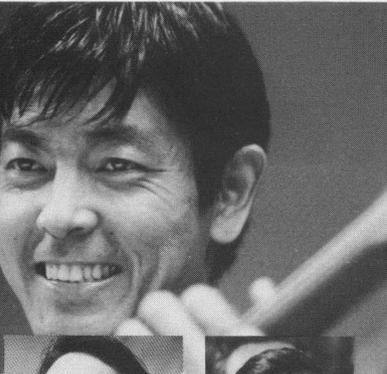
「じょんから節」や「よされ節」はもともと楽譜があつてないようなもの。基本フレーズは同じでも、アドリブが持ち味とあって至難の業。しかし、特訓の成果が、みごとにスクリーンで実証される。三味線をひく指の動きは、かつての「コンペティション」(80)のリチャード・ドレイファスのピアノや「ニューヨーク・ニューヨーク」(77)のデ・ニーロのサックスを思わせるすばらしさ。

主演の柴田恭兵は「チ・ン・ピ・ラ」(84)「あぶない刑事」(87)などでおなじみ、ヒロインには「キネマの天地」(86)、「226」(89、6月公開予定)の有森也実、健吉のライバル役、勇造に「夢みるように眠りたい」(86)、「TOMORROW/明日」(87)の佐野史郎、そのほか、加賀まりこ、佐藤慶、織本順吉、馬淵晴子、北村和夫、宮下順子などベテラン陣が脇を固め、明石家さんまも友情出演。

スタッフは、撮影に「火まつり」(85)の田村正毅、衣裳デザインに「乱」(85)でアカデミー賞を受賞したワダエミ、照明に高屋齋、美術に山口修、音楽に横田年昭。(上映時間:1時間54分)

監督からのお願い

結びのクレジットタイトルに流れる音楽は、映画全体をしめくくるエピローグとして作曲されております。「終」の文字が消えるまで、お席についたまま耳を傾けていただけたら、とても幸せにおもいます。



●心底から熱く込みあげて—
三味線版「ロッキー」の誕生!

かつて、津軽には聴衆の拍手によって勝敗を決める三味線競争があった。

健吉(柴田恭兵)は、秋祭りの三味線競争で優勝することを夢見ていた。そのためには隣村の地主の息子、勇造(佐野史郎)に勝たなくてはならない。

ある日、健吉は軒先きやってきた津軽で1、2位といわれるボサマ(牧良介)の三味線の音を耳にする。健吉は、小作人の父(織本順吉)に田に出て働くことを条件に三味線を手に入れると、父を裏切ってボサマの指導のもと、山にこもって練習に励む。

勇造は、かねがね、健吉に想いをよせる、ちよ(有森也実)を自分のものにしようと狙っていた。勇造は、三味線競争の勝者がちよをとることを健吉に約束させる。

秋祭りの日、文字通り健吉と勇造の一騎打ちになるが、勇造の卑劣な手によって健吉は失意のうちに舞台を去る。健吉は、ちよに一年間待ってくれと告げるとボサマとともに修業の旅に—。

6月中旬ロードショー

●前売鑑賞券絶賛発売中!

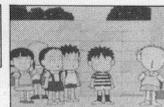
一般1300円・学生1100円

(当日料金/一般1600円・学生1300円・特別席1900円)

シネスイッチ銀座

CINE SWITCH GINZA

銀座4丁目交差点と光ウラ 03(561)0707



(同時上映)短編アニメーション
監督:玖保キリコ/音楽:ジョン・ゾーン
シニカル・ヒステリー・アワー
第4話「うたがいのうた」